

令和 8 年度



松本市立二子小学校
グランドデザイン

学校教育目標

勇 気 やる気 根 気 元 気

【学校長の願い】自己の意思決定力を身につけ、挑戦していく姿。そして、目標達成に向けて踏み出した子どもたちが、その過程で、友と話し合い、聞く力や対話による合意形成力を身につけ、みんなでやっていこうと考える姿を学校、家庭、地域と共に育みたい。

【松本市教育大綱】
(R4.2.14)

子どもが主人公
～学都松本のシンカ
多様性 創造性 主体性

令和8年度 二子小学校は、児童、教職員共に、「いってみよう、やってみよう」をあい言葉に、学校づくりを進めていきます。

私たちのあい言葉 いってみよう、やってみよう

めざす子どもの姿 「自ら取り組む子ども」

【重点1】

人、もの、こととつながる学びづくり

- (1) 願いや問いをもち、考えや意見を伝え合い、正解だけでなく納得解にたどり着く学び
- (2) 交流による学び（児童会、異年齢集団による活動等）

〈自ら学ぼうとする姿の基盤となる力〉
ことばの力、問題発見・解決能力、情報活用能力

【重点2】

人、もの、こととつながる関係づくり

- (1) 子どもの問いや願い、困りに寄り添う支援
- (2) 支え合い、助け合い、認め合う仲間づくり
- (3) ことばの力、対話力、協調力を身につける
スリンプル・プログラムの取組

〈自ら取り組もうと一歩踏み出す姿の基盤となる力〉
自己決定力、行動する力、対話する力、協調力

子ども、地域と共に学び続ける教職員

- (1) 研究テーマ「どの子ども自ら願いをもち友と伝えあいながら解決に向かおうとする児童の育成」
- (2) 教科で身につける力、教科横断的な学習活動で身につける力を明確にしたカリキュラムデザイン
 - ・生活科、総合的な学習の時間からの人、もの、こととつながる学びへのアプローチ
- (2) 日々の授業づくり
 - ・願いや問いをもち、考えや意見を伝え合い、正解だけでなく納得解にたどり着く学びづくり
 - ・授業を見合う場の設定
 - ・子ども同士をつなぐ教師の支援
- (3) 個に寄り添う支援
 - ・インクルーシブ教育の視点からの学級経営
 - ・学級を見合い、聞き合う場の設定
 - ・スクリーニング会議、児童理解研修
 - ・特別支援 Co を中心に組織として取り組む、児童、保護者への支援体制、相談体制
 - ・子ども一人ひとりと向き合う相談週間の設定
- (4) つながる教職員
 - ・困りを発し、きき合える雰囲気醸成
 - ・連学年会の充実
 - ・非違行為防止研修、スリンプル・プログラム研修
- (5) 教職員の働きがいを生み出す業務改善
 - ・年間指導時数 1086 時間を見据えた年間計画立案
 - ・定時退勤日の徹底
 - ・職員研修の充実

家庭、地域とつながる学校

- (1) 家庭と共に
 - ・学校運営、目指す子ども像の共有
 - ・家庭への情報発信
 - ・保護者ボランティアの募集
 - ・新しい PTA のあり方を探る
- (2) 地域と共に
 - ・公民館、二子の子育成応援団との連携による学校支援ボランティアの編成、人材確保
 - ・地域と連携した人、もの、こととつながる学びの展開
 - ・地域の人々が、日常的に来校できる「地域室」の設置
 - ・大学、園との連携した学びの創造
- (3) 家庭、地域と共につくる安全安心な学校
 - ・健康教育、保健安全指導の充実
 - ・引き渡し訓練の実施
 - ・見守りボランティアの依頼
 - ・通学路の安全点検
- (4) スクールカウンセラー、SSW、市教育委員会、インクルーシブセンター等と共に
 - ・多角的な児童理解に努める
 - ・子に寄り添う支援の充実
 - ・教育相談の実施
 - ・学びの場の検討